

# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 オーウイル株式会社

コード番号 3143 URL <http://www.owill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口 英器

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長 (氏名) 伊達 一紀

TEL 03-5772-4477

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,571	△2.9	228	△22.8	257	△16.3	153	△24.6
25年3月期第2四半期	15,010	2.6	296	20.4	307	22.0	203	312.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 156百万円 (△25.3%) 25年3月期第2四半期 209百万円 (666.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	48.62	—
25年3月期第2四半期	64.52	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	7,294	1,696	23.3	538.47
25年3月期	8,154	1,634	20.0	518.90

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,696百万円 25年3月期 1,634百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	0.2	370	△0.8	370	△5.9	218	△3.4	69.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	3,150,000 株	25年3月期	3,150,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	136 株	25年3月期	136 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	3,149,864 株	25年3月期2Q	3,149,918 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和の効果・期待感から、円安・株高が進み、企業収益に改善が見られるなど、景気回復に明るい兆しが見えてきております。一方、欧米諸国における財政問題や円安進行による原材料価格の上昇など景気の下振れ懸念材料もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、消費者の節約志向や業種を超えた企業間競争によるデフレ市況が続く中、一部高額品については消費回復の動きがあるものの、消費回復への影響は未だ限定的であり、また、円安による輸入品等の原材料価格は上昇していることから、取巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な食品原料及び資材の供給を継続し、サービスの向上に努めるとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加や取引先の拡大に努めてまいりました。一方で、取引先からは品質が良く安価なものを求められていることや商品のライフサイクルのスピードが短くなっていることから、時代に即したコスト構造の最適化を図ることが急務となってきております。当社グループは、企業グループの将来を見据えて、新規の案件に着手する傍ら、既存取引の見直しを行ってまいりました。その結果、売上高は14,571,143千円（前年同期比2.9%減）となりました。また、前年同期は好調であった機能性食材の販売が伸張しなかったことや販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益は228,793千円（前年同期比22.8%減）、経常利益は257,611千円（前年同期比16.3%減）、四半期純利益は153,149千円（前年同期比24.6%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

飲料市場においては、国内市場が飽和状態であることから企業再編やグローバル展開が加速し、企業間の競争は激化しております。このような状況下、当社グループは、取引先のニーズに応えるべく、国内外から原料資材の確保に努め、安定供給体制を維持する一方、取引先の拡大や利益率の改善に努めてまいりました。新商品の発売や夏場の清涼飲料増産等もありクエン酸、糖類、果汁、茶葉等の販売数量が伸張したものの、利益率の低い飲料製品の取引を一部解消したこと、コンビニのセルフコーヒーの普及に伴い缶コーヒーが苦戦を強いられ、使用されている殺菌乳の販売数量が減少したことなどにより、売上高は14,194,329千円（前年同期比3.4%減）となりました。

#### <製造販売事業>

安心で安全な商品をお客様にお届けするために、品質管理面の強化に注力する一方、NBブランドの強化を図るため、「やさしいあいすくりーむ」の拡販に努めてまいりました。「やさしいあいすくりーむ」の高評価を受け、新たな販売チャネルが増加し、新規の個食用のアイスが好調に推移いたしました。また、お客様のニーズに合わせたPB商品の開発を取引先と共同で行い、業務用アイスの販売数量が増加しましたが、既存顧客への販売が低調に推移し、売上高は279,797千円（前年同期比4.2%減）となりました。

#### <その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区に4店舗展開しており、そのうちの1店舗が24時間店舗であります。各店舗において経費削減を含む店舗運営の効率化に努めたほか、店舗間の連携を強化したことにより収益力が改善し、売上高は421,541千円（前年同期比10.8%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ922,122千円減少し、6,220,554千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ61,933千円増加し、1,073,925千円となりました。主な要因は、無形固定資産及び投資その他の資産の増加によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて860,188千円減少し、7,294,479千円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ926,345千円減少し、4,965,207千円になりました。主な要因は、買掛金の減少によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ4,512千円増加し、633,176千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ921,832千円減少し、5,598,383千円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ61,644千円増加し、1,696,096千円となりました。主な要因は利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月13日に発表いたしました数値を変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,238,523	848,757
受取手形及び売掛金	4,226,392	3,555,557
商品及び製品	815,459	922,353
未着商品	517,893	360,926
原材料及び貯蔵品	14,916	17,828
未収入金	242,603	422,101
繰延税金資産	17,634	29,036
その他	74,003	68,691
貸倒引当金	△4,750	△4,700
流動資産合計	7,142,676	6,220,554
固定資産		
有形固定資産	324,907	318,625
無形固定資産	88,112	115,912
投資その他の資産	598,971	639,387
固定資産合計	1,011,991	1,073,925
資産合計	8,154,668	7,294,479
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,712,310	3,757,150
1年内返済予定の長期借入金	228,348	250,676
未払金	829,093	730,632
未払法人税等	23,991	116,781
賞与引当金	37,269	43,239
その他	60,539	66,727
流動負債合計	5,891,552	4,965,207
固定負債		
長期借入金	564,365	567,309
資産除去債務	5,012	5,054
その他	59,286	60,812
固定負債合計	628,663	633,176
負債合計	6,520,215	5,598,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	288,387
利益剰余金	940,079	998,732
自己株式	△71	△71
株主資本合計	1,591,782	1,650,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,875	36,505
繰延ヘッジ損益	7,066	2,365
為替換算調整勘定	5,727	6,789
その他の包括利益累計額合計	42,669	45,660
純資産合計	1,634,452	1,696,096
負債純資産合計	8,154,668	7,294,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	15,010,611	14,571,143
売上原価	13,740,491	13,295,312
売上総利益	1,270,119	1,275,830
販売費及び一般管理費	973,802	1,047,036
営業利益	296,317	228,793
営業外収益		
受取利息	51	138
受取配当金	2,984	3,104
為替差益	13,280	19,554
受取手数料	3,314	3,314
受取補償金	2,031	6,674
貸倒引当金戻入額	920	—
保険解約返戻金	—	3,200
その他	1,799	1,137
営業外収益合計	24,381	37,123
営業外費用		
支払利息	5,916	6,242
支払補償費	6,592	1,747
その他	327	315
営業外費用合計	12,836	8,305
経常利益	307,862	257,611
特別利益		
固定資産売却益	3,133	—
負ののれん発生益	12,730	—
特別利益合計	15,864	—
特別損失		
訴訟関連損失	32,857	—
特別損失合計	32,857	—
税金等調整前四半期純利益	290,869	257,611
法人税、住民税及び事業税	106,197	112,781
法人税等調整額	△29,442	△8,319
法人税等合計	76,754	104,461
少数株主損益調整前四半期純利益	214,115	153,149
少数株主利益	10,890	—
四半期純利益	203,224	153,149



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	214,115	153,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,403	6,630
繰延ヘッジ損益	△4,530	△4,701
為替換算調整勘定	934	1,061
その他の包括利益合計	△5,000	2,990
四半期包括利益	209,114	156,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,224	156,139
少数株主に係る四半期包括利益	10,890	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	290,869	257,611
減価償却費	21,659	20,143
貸倒引当金の増減額(△は減少)	180	△50
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,946	5,970
受取利息及び受取配当金	△3,035	△3,242
支払利息	5,916	6,242
為替差損益(△は益)	2,617	△7,649
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,133	—
訴訟関連損失	32,857	—
負ののれん発生益	△12,730	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,171,497	670,836
たな卸資産の増減額(△は増加)	△62,811	47,160
未収入金の増減額(△は増加)	△32,787	△179,498
破産更生債権等の増減額(△は増加)	50	—
仕入債務の増減額(△は減少)	1,503,257	△955,161
未払金の増減額(△は減少)	27,671	△72,188
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,013	4,663
その他	△29,667	3,377
小計	582,375	△201,786
利息及び配当金の受取額	3,016	3,361
利息の支払額	△5,989	△6,273
訴訟関連損失の支払額	△2,857	—
法人税等の支払額	△148,906	△20,563
営業活動によるキャッシュ・フロー	427,638	△225,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,111	△13,063
有形固定資産の売却による収入	3,820	—
無形固定資産の取得による支出	—	△54,896
投資有価証券の取得による支出	△47,532	△34,112
関係会社株式の取得による支出	△40,000	—
関係会社貸付けによる支出	△15,522	—
貸付金の回収による収入	—	813
差入保証金の差入による支出	△808	—
差入保証金の回収による収入	—	360
その他	△689	△689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,843	△101,587

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△77,714	△124,728
リース債務の返済による支出	△2,082	△2,216
配当金の支払額	△93,825	△93,913
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,378	△70,858
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,146	7,942
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	330,027	△389,765
現金及び現金同等物の期首残高	1,182,775	1,238,523
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	16,429	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,529,232	848,757

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,557,961	72,027	14,629,988	380,622	15,010,611	—	15,010,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134,897	219,930	354,827	—	354,827	△354,827	—
計	14,692,858	291,958	14,984,816	380,622	15,365,439	△354,827	15,010,611
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	269,209	30,543	299,752	△4,145	295,607	710	296,317

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額710千円は、セグメント間取引消去710千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

当第2四半期連結累計期間において、連結子会社である(株)サンオーネストの発行済株式を追加取得したことにより、連結損益計算書において12,730千円の「負ののれん発生益」(特別利益)を製造販売事業で計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,065,222	84,378	14,149,601	421,541	14,571,143	—	14,571,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129,106	195,418	324,525	—	324,525	△324,525	—
計	14,194,329	279,797	14,474,126	421,541	14,895,668	△324,525	14,571,143
セグメント利益	206,521	16,863	223,384	3,480	226,865	1,928	228,793

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,928千円は、セグメント間取引消去1,928千円であります。
  3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。